

ボラパトだより

いちかわボランティアパトロール

第 9 号

平成27年4月15日発行

発行：市川市 市民部 市民安全課
〒272-8501 市川市八幡1丁目1番1号
TEL 047-334-1129
FAX 047-336-8073

「ボランティアパトロール」とは、ジョギング、犬の散歩や買い物など、ちょっとした外出の際に、オレンジ色の帽子を身につけて、パトロール活動も兼ねてもらって犯罪を抑止していくものです。

本市は、平成27年2月6日に、市川市文化会館にて「いちかわ市民防犯講演会」を開催しました。当日は多くの市民の方にご参加いただきました。当講演会では、講師に株式会社ステツブ総合研究所長の清永奈穂氏をお招きして、地域を守るパトロール方法について、実演を交えながらわかりやすく講演していただきました。

また、ボランティアパトロールを三年継続して活動いただいた406名の方に感謝状の授与を行いました。当日は表彰者を代表して、杉平長徳様にボランティアパトロールの活動報告をしていただきました。そのため、その一部を掲載させていただきます。

「私は高齢者クラブ『原木寿会』会長を務めております。その活動で、日ごろから地域を回る機会が多々ありましたので、同時にパトロールを行おうと考えたのがボラパトに登録したきっかけです。

パトロールは、真間川周辺や原木3、4丁目などを、ごみ拾いや街灯の球切れ確認などをしながら昼と夜に行っています。また、所属する原木自治会の活動でも、月に1回皆でボラパトの帽子を被り、不審者が潜んでいないかなどを意識しながら夜間パトロールをしています。その他にも、新学期や夏休み明けの時期には、二俣小学校児童の安全のため、通学路に立ち、見守りや安全確認などを行います。

ボラパトの帽子を被っていると、子どもたちが元気よく挨拶してくれたり、知らない人とも交流ができたります。日々の活動のやりがいとなっています。

私は、地域のつながりが強い地域は、犯罪に強い地域だと考えています。ボラパトを通して、地域の方々につながりが生まれ、お互い



続いて、活動報告終了後の杉平様へのインタビューを掲載させていただきます。

を気にかけて合う地域になることで犯罪の減少につながるのではないのでしょうか。

また、一人暮らし高齢者の孤立化防止のためにも、自分のペースで無理なく行えるボラパトのような活動に、高齢者が積極的に参加し、地域の人とのつながりを保つことが大切なことだと思っています。」

A. Q. 活動報告を終えた心境は如何ですか？

A. 市川二俣郵便局の局長を務めていた経験などからスピーチをする機会はこれまでもありましたが、久しぶりだったので、緊張しました。うまくいった一安心です。

A. Q. 今回の講演は如何でしたか？

A. とても参考になりました。メモをたくさんとったので、今後のパトロールに活かしていきたいです。

A. Q. 今後の活動についての意気込みは？

A. 感謝状をいただけて、今後の励みになりました。健康に気を付けてこれまで以上に頑張りたいです。『原木寿会』や自治会などで、ボラパトをもっとPRして、参加者を増やしていきたいです。若い人にも、もっと参加してもらえたらと考えています。

杉平様のような、一人ひとりの活動の積み重ねが、市内の犯罪減少につながっています。ボランティアパトロール事業への引き続きのご協力をお願いいたします。

◇平成26年 市内の犯罪発生件数

< 罪種 >	< 件数 >	< 前年比 >	
凶悪犯	36	14	
粗暴犯	232	-24	
窃盗犯	空き巣	295	22
	忍込み	113	51
	ひったくり	39	-84
	自動車盗	35	-73
	オートバイ盗	174	-102
	自転車盗	1,474	-266
	車上ねらい	255	-102
	部品ねらい	206	41
	その他	1,348	202
	知能犯	140	-24
風俗犯	23	0	
その他刑法犯	876	66	
合計	5,246	-279	

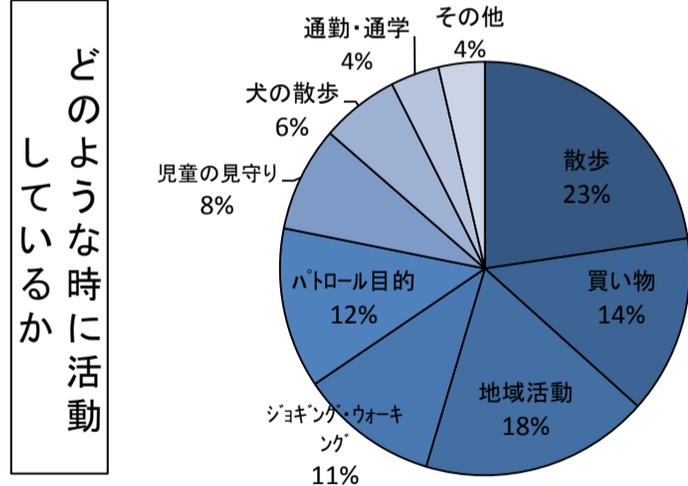
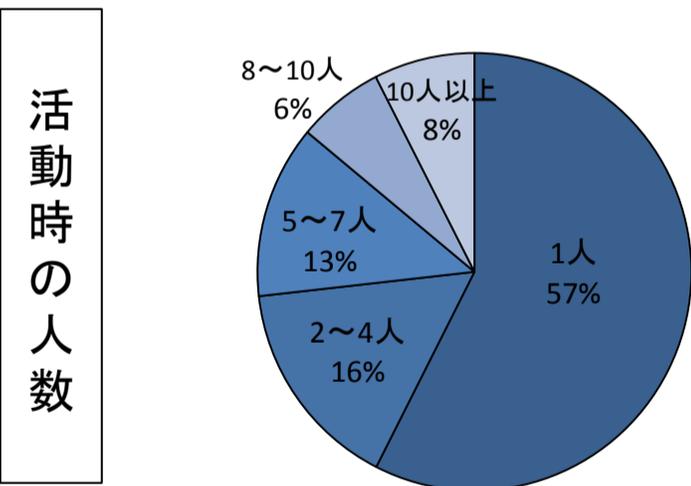
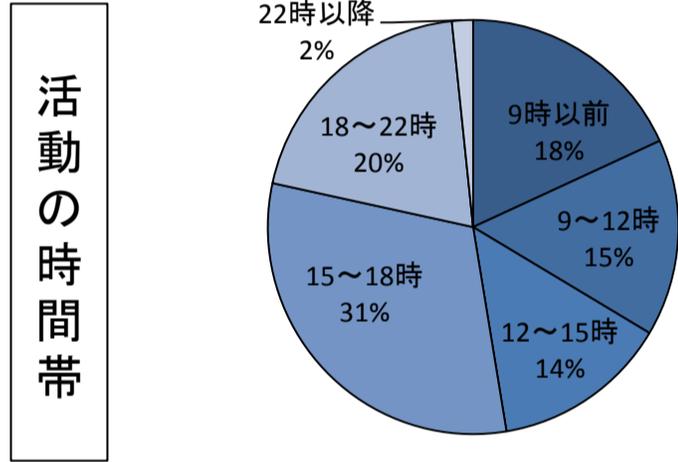
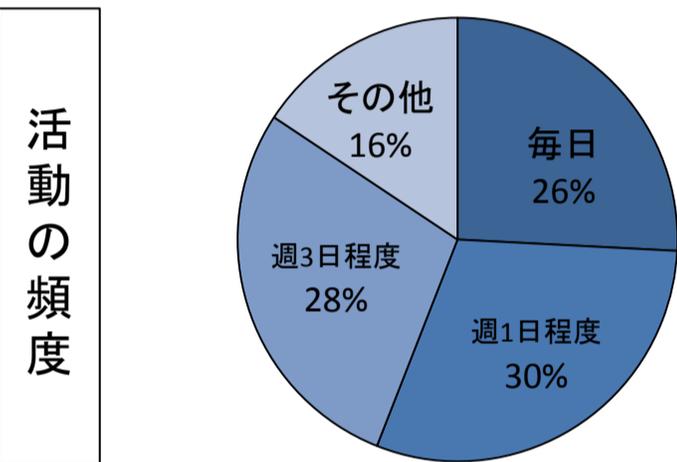
皆さま一人ひとりの活動により、市内で発生する犯罪の件数は年々減少を続けています。しかし、罪種別にみると、昨年は、家主が不在時に侵入し窃盗を行う「空き巣」や就寝中を狙う「忍込み」など「侵入盗」が増加しました。

犯人の侵入手段として意外と多いのが、無施錠の窓や玄関からの侵入です。短時間でも家を空ける際は、必ず鍵をかける習慣を持ちましょう。

また、これらの犯罪を行おうとする者は、顔を見られること、覚えられることを嫌います。パトロール時に不審な人物を見つけたときは、挨拶するだけでも十分な抑止効果があります。

◇ボランティアパトロール活動調査結果

平成26年度に実施したボランティアパトロール活動調査の結果を掲載します。今回は1,234名の方々に回答をいただきました。調査へのご協力ありがとうございました。



《活動をしていて良かったこと》

- ・「ありがとう」「お疲れ様」と声をかけてもらえる。
- ・地域の方と交流する機会が増えた。
- ・帽子を被っていると、皆が安心して挨拶してくれる。
- ・健康な身体の維持に役立っている。
- ・近所の学校に通う児童の保護者から感謝の手紙をもらった。

《活動をしていて嫌に思ったこと》

- ・交通ルールを守らない人が多く残念に思う。
- ・真冬のパトロールは身体的に厳しい。
- ・挨拶をしても返してくれないことがあった。
- ・パトロールへ参加する若い人が少ない。

(一部抜粋)

ボランティアパトロールへの新規加入、バッジや帽子の紛失・交換などに関しては、市川市 市民安全課 までお問い合わせください。

【TEL】 047-334-1129

ボラパト登録者数
(平成27年3月末)

2,949名